

練成大会審判用資料

1. 試合・審判規則

全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則・同審判運営要領に基づいて行う。

また、新型コロナウイルス感染が収束するまでの暫定的な試合審判法に基づいて行う。

※別紙参照

2. 試合運営に関すること

- ・団体戦における審判交代は「すれ違い」方式。
- ・チームの入れ替わりは次のチームが試合場の外側で前のチームの礼式が終わるのを待ち、審判員が入れ替わるのと同時に9歩の位置へ入場する。(横に2チーム並ばない)

高校の部

・試合時間は4分3本勝負、勝敗が決しない場合は引き分け。大将戦終了後、勝者数・総本数が同数の場合は、当該試合に出場した選手の中から1名選出して代表者戦を行う。代表者戦は3分一本勝負として時間を区切り、延長戦2回ごとに休息(深呼吸)→休憩(給水)を繰り返す。

中学の部

・試合時間は3分3本勝負、勝敗が決しない場合は引き分け。大将戦終了後、勝者数・総本数が同数の場合は、当該試合に出場した選手の中から1名選出して代表者戦を行う。代表者戦は2分一本勝負として時間を区切り、延長戦2回ごとに休息(深呼吸)→休憩(給水)を繰り返す。

小学生の部

・試合時間は2分半3本勝負、勝敗が決しない場合は引き分け。大将戦終了後、勝者数・総本数が同数の場合は、当該試合に出場した選手の中から1名選出して代表者戦を行う。代表者戦は2分半一本勝負として時間を区切り、延長戦2回ごとに休息(深呼吸)→休憩(給水)を繰り返す。

3. コロナによる暫定的措置

審判員が心掛けること

- ・マスク(マスクの色は白が望ましい)を着用する。フェイスシールドは不要。
- ・試合者はマスクとマウスガードを正しく装着しているかを確認して試合を行う。
- ・審判旗は各自持参する。